ぽらーのNEWS トピックス

ピーマンとリンゴをプレゼント
地元農産物をPR

花巻市農業振興対策本部園芸振興部会は10月3日、「宮沢賢治童話村」（花巻市高松）でピーマンとリンゴ「紅いわて」が入った詰め合わせを来場者100人にプレゼントしました。

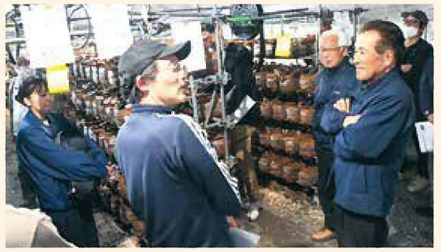
イベントにはJAのオリジナルキャラクター「ピーやん」も参加し、地元農産物をPRしました。JA職員は「花巻の農産物を知って、たくさん食べてください」と呼び掛けました。


ピーマンとリンゴの詰め合わせを手渡すJA職員（左）

需要期に向けて出荷時の注意点を確認
菌床シイタケ目ぞろえ会

野菜部会きのこ専門部は10月26日、北上市内の会場で菌床シイタケの目ぞろえ会を開き、需要期に向けて出荷時の規格や留意点を確認しました。JA職員は、適期収穫を心掛け、保管する際の温度管理に気を配るよう呼び掛けました。

目ぞろえ会の後、参加者たちは、菊池冠二さん（北上市上江釣子）のハウスで栽培の様子を見学し、管理方法について意見を交換しました。


意見交換を行う参加者たち

次作に向けた病害虫対策を確認
ピーマン秋じまい講習会

JAと県中部農業改良普及センターは10月20日、花巻市と北上市の3会場でピーマンの秋じまい講習会を開き、栽培終了後の作業について確認しました。

石鳥谷東支店（花巻市石鳥谷町）で行われた講習会では、同普及センターの職員が講師を務め、次作の収量確保に向けた対策を説明しました。適切な残渣・雑草処理や資材消毒により、病害虫の蔓延を防ぐよう呼び掛けました。


病害虫対策を説明する県中部農業改良普及センターの職員

二子さといものおいしさPR！
イオンモール盛岡南で試食提供

JAは10月12日、イオンモール盛岡南（盛岡市本宮）で、キッコーマン食品（株）と連携した販売促進活動を実施し、同社の「濃いだし本つゆ」と二子さといもを使った「いものこ汁風寄せ鍋」の試食を提供しました。

多くの来店客の他、店内で行われた別イベントに参加していた達増拓也知事も立ち寄り「煮崩れせず、程よい固さでおいしい」と味わっていました。


「いものこ汁風寄せ鍋」を味わう来店客

HPをチェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中！

等級確保に向け注意点を確認
大豆収穫前指導会

JAと県中部農業改良普及センターは10月9日、総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で収穫を間近に控えた大豆の指導会を開きました。

生産者など30人が参加。同普及センターの担当者が講師を務め、汚損粒発生を防ぐ対策方法や収穫適期の目安について説明し、「近年でも生育が良好な年。圃場管理を徹底し、等級を確保してほしい」と呼び掛けました。


収穫期の栽培管理を確認する生産者たち

ご当地グミや農産物をPR！
AKB48メンバーが「だぁすこ」来店

アイドルグループ「AKB48」の行天優莉奈さんと奥本カイリさんは10月23日、JA全農が販売する「ニッポンエールご当地グミ」のPRのため、母ちゃんハウスだぁすこ（花巻市野田）を訪れ、岩手県の「やまぶどうグミ」や、リンゴ「紅いわて」、シャインマスカットの魅力を伝えました。

行天さんは「ぜひ岩手のおいしいものを堪能してほしい」と呼び掛けました。


ご当地グミや農産物をPRした行天さん（左）と奥本さん

グリーンセンター東和店が入賞！
資材店舗CS甲子園2026

グリーンセンター東和店（花巻市東和町）は、JA資材店舗における組合員満足度の向上や陳列強化を目的に開催された「JA資材店舗CS甲子園2026」の大型陳列部門で「ラウンドアップ賞」を受賞しました。

除草剤「ラウンドアップ」の歴史と実績を分かりやすく伝え、ポップやイラストによって親しみを持てる売り場づくりを行ったことが高い評価を受けました。



ラウンドアップ賞を受賞した同店の陳列

今年産ワイン出荷スタート
いわてヌーヴォー2026出発式

エーデルワイン（花巻市大迫町）は10月22日、材料に花巻産のブドウを使った特別限定新酒「いわてヌーヴォー2026」の出発式を開きました。

同社前で行われた出発式では、関係者によるテープカットの後、ワインを積み込んだトラックの出発を見送りました。同社の女鹿将瑛醸造技師長は「フレッシュな味わいに仕上がっている。ぜひ食卓で楽しんでほしい」と話しました。


テープカットで出荷を祝う関係者たち